平成２７年度　北合志保育園事業報告書

１、概要

当保育園は、平成17年に45名から30名に定員変更をし、22年4月に40名、24年4月に50名の定員変更をしました。２６年度は、3月は65名の定員まで園児数が増えてきました。その要因は、当保育園は選ばれる保育園となるために、保護者、地域との連携を深め、当保育園の特色である自然の中での保育を充実してきたことと異年齢保育の同年齢保育に加え、多様な関係を感じ繋がっていく保育の浸透にあるとおもいます。地域の伝統行事に参加し、食育として地域の方々と味噌づくり等をすることで、子ども達が暮らしの中で学ぶという体験につながったと思います。

２６年度のアンケート結果からも解かるように、立地条件より、自然環境を生かした保育に保護者の関心が寄せられています。しかし、それらに取り組んではきたものの、保護者のニーズや保護者の意識が高くなり、保育園の方針を充実するためには、保育士の質の向上と、保育士一人一人の人間性の豊かさが求められるようになっている。子どもに対して、どれだけより添うことができるか、子どもをどれだけ大切に思い、子どもとともに向きあって、子どもに安心感と、信頼関係を結べるかと行いう保育本来の基本的なところからの学びあいになっていきます。そのことが、保護者に安心感と信頼関係を築き上げていくものと考えます。

異年齢保育や、自然の中での保育に関して保育園として明確な保育方針を打ち出し、保護者・地域に発信・および浸透していく力をつけていきたいです。

２６年度は、新園舎での生活が始まり、新たな課題もみえてきた。２７年度の新制度の導入で混乱を否めない状態があるが、保育の更なる充実を目指し、北合志保育園がゆるぎないものとして確立していくように努めていきます

　２、保育の実践内容

当保育園では、「豊かな感性のある子ども」「自主的に自分で決断できる子ども」「人を大切に思う思いやりを持った子ども」「健康な子ども」「何事も意欲的にやってみようとするこども」「食べることが好きな子ども」という６つの子ども像を目標とし、その達成のため、以下の通り保育の実践に努めました。

（１）自然の中の保育

自然に恵まれた当保育園で、子どもたちは、虫を見つけ、草花を摘み、木や石に登り、探検し、自然物を口にして四季の移り変わりの中で、年齢別に応じた散歩を楽しんでいます。このように、五感を働かせ、自然への気付きを促し、感性を育む体験を積む幼児期の原体験が、小学校での学習能力に生かされ、色々な問題に対して、他人事ではなく、積極的に関わろうとする態度の育成へと発展していくと考えます。強いては人を思いやる気持ちが育ちリーダシップ能力が育まれます。自然の中で過ごすことは、子どもたちの身体の発育を促すだけでなく、子どもたち誰もが持っている大きな能力を引き出す力になります。このような自然の中での保育に、本年度も積極的に取り組んでまいりました。

（２）異年齢保育

２３４５歳児の異年齢保育

多様な関係を学びあい、自分の居場所があり、大好きな先生・大好きな遊びの充実の満足感を感じる保育に努めてきました。

しかしながら、異年齢保育を実践し、また勉強していく中で、本当に幅のある異年齢保育が保障されているのかが課題になり検討を行いさらに年齢の幅が広がる、2歳児からの異年齢保育に昨年の６月より取り組むこととなりました。異年齢保育は、目に見える発達より、心の成長を重視したところがあり、保護者には解りずらさが、あったかもしれませんが、2歳児から5歳児が一緒に過ごしワンパターンではない多様な関係や、多様な能力の中で、自らやってみようとする力や、挑戦してみたいと思う意欲など、より広い集団力を育てる力は大きいものがあるとおもっています。

多様な関係の中で過ごしていくことは、一日の中での遊びや生活で満足や達成感のみならず、葛藤や、悔しさ、楽しさなどあらゆる経験をして、自己決定力や困難を乗り切る力や、自信、意欲に繋がる土台を養っていくことになり、そこに異年齢保育の大きな意味があると考えています。

（４）地域交流

当保育園は、子どもたちと一緒にご近所へ出かけ、動物を見せていただいたり、伝統行事に参加させていただいたりして、地域の方々との交流を大切にしています。子どもたちはこのような交流を通じて、自分を大切にしてくれていることを感じ、また、人を大切にする思いやりの気持ちが育つと考えます。子どもたちには、人と人をつなぐ力があり、それを大きなパワーにして、人と人とをつなぎ合う保育園を目指し、日々の保育に取り組んでまいりました。

（３）和太鼓

子どもたちは、日本古来の和太鼓の音が大好きです。和太鼓歴７０年の先生と、楽しい和の時間を過ごします。一つのことに子ども達全員で取り組むという体験を通じ、人を大切に思う協調性のある子どもに育ってほしいと思い、取り組んでおります。

（５）ラボ

０歳から５歳までを対象に行っています。テューターと共に、耳と心と体のスキンシップを楽しみます。山浦テューターは、子どもと絵本と音楽が大好きな先生です。子どもたちに色々な世界を知る楽しさを教えてもらっています。広い世界を感じ取ることで、新しい物事に興味や関心を持ち、挑戦していける子どもになってほしいと考え、活動しております。

どの年代にどんな大人と出会うのか保育の重要性を考える意味でもラボはその分野を果たしているとおもっています。

（６）絵本と音楽のある保育

　年齢に合わせて絵本の充実を図っています。たくさんの物語に中に広がるさまざまな物語の世界を楽しめるような絵本の提供に力をいれています。絵本の貸し出しや月刊絵本の購入などで保護者の絵本に対する意識を高めたいと思う。保育士が子ども達の絵本隙にさせることも課題である。

３、健康管理の実施状況

（１）児童

　　①内科

年２回（平成２７年５月２９日、平成２７年１１月１２日）園嘱託医による内科検診を実施した。

　　②歯科

　　　平成２７年５月１４日に、園嘱託医者による歯科検診を実施した。

　　③ぎょう虫、寄生虫検査（全園児）を平成２６年５月３～６日に実施し、7日に提出。

　　④毎月、身体測定を行った。

（２）職員

　①定期健康診断

　　平成２７年１月（6～9日）に、健康診断を臨時職員を含む全職員に実施した。

　②検便

　　毎月１回、専門業者に依頼し、「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌」の検査を臨時職員を含む全職員に実施している。

４、施設整備

（１）保育環境からみた設備

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 購入年月日 | 名称 | 金額（円） |
| 平成27年4月14日 | フックスタンド | 23000 |
| 〃　　4月14日  | 椅子 | 43920 |
| 〃　　4月21日 | 掃除機 | 29800 |
| 〃　　4月30日 | 三段ＢＯＫ | 11779 |
| 〃　　5月20日 | マジックブレッド | 11880 |
| 〃　　6月25日 | 水中ポンプ | 25509 |
| 〃　　7月14日 | 噴水器 | 75600 |
| 〃　　7月14日 | 脚立 | 8378 |
| 〃　　7月21日 | 身長計 | 27000 |
| 〃　　7月21日 | 刈り払い機 | 19800 |
| 〃　　8月6日 | 折りたたみ椅子 | 6582 |
| 平成28年１月25日　　　 | チャイルドシート | 2958 |
| 2月29日 | 保管庫 | 50000 |
| 3月31日 | 残留塩素系 | 25704 |
|  |  |  |
|  | 　　　　　　　　合計 | 361830 |

（２）保育内容からみた施設

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 購入年月日 | 名称 | 金額（円） |
| 平成27年7月14日 | ミニトップゆらゆら | 8200 |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 平成27年度職員研修記録 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研修日 | 職名 | 氏名 | 県・市町村主催 | 保育団体・社協主催 | その他 | 復命書 |
|  |  |  | 回数 | 研修会名 | 回数 | 研修会名 | 回数 | 研修会名 |  |
| 5月14日 | 園長 | 岩根　治美 |  | 女性部会 |  |  |  |  |  |
| 5月23日 |  |  |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 5月25日 |  |  |  | 保育協会総会 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 9月3日 |  |  |  | 管理者研修 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 8月30日 |  |  |  |  |  |  |  | 第三者評価 |  |
| 10月8日 |  |  |  |  |  |  |  | マイナンバー研修 |  |
| 11月19日 |  |  |  |  |  |  |  | 仕事ができる人の育て方 |  |
| 2月4・5日 |  |  |  | 保育研究大会 |  |  |  |  |  |
| 2月10日 |  |  |  |  |  | 園長会・促進連盟大会 |  |  |  |
| 2月15日 |  |  |  |  |  | 法令関係研修 |  |  |  |
| 3月11日 |  |  |  |  |  | 女性部会 |  |  |  |
| 3月16日 |  |  |  |  |  | 労務研修 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 主任 | 野田　孝太郎 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 5月19日 |  |  |  | 特別支援教育 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  | 異年齢 |  |
| 10月26日 |  |  |  |  |  | 保育指針食育研修 |  |  |  |
| 10月28日 |  |  |  | 主任研修 |  |  |  |  |  |
| 2月4・5日 |  |  |  | 保育研究大会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6月4日 | 調理師 | 瀬口　美穂 |  | 給食部会 |  |  |  |  |  |
| 7月28日 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 10月26日 |  |  |  |  |  | 保育指針食育研修 |  |  |  |
| 2月5日 |  |  |  | 保育研究大会 |  |  |  |  |  |
| 2月26日 |  |  |  | 給食部会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 保育士 | 松永　典子 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 保育士 | 田中　麻衣 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 9月9日 |  |  |  |  |  |  |  | ひばり園 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 保育士 | 濵本　依里 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 8月25日 |  |  |  |  |  | 345歳児研修 |  |  |  |
| 11月14日 |  |  |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 保育士 | 池田　結花 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月14日 | 保育士 | 今村　江利 |  | 女性部研修会 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 11月14日 |  |  |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 保育士 | 桐　麻亜里 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  | 異年齢 |  |
| 11月14日 |  |  |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月23日 | 保育士 | 瀬上　舞子 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
| 7月25日 |  |  |  | 人権・同和教育 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 2月4・5日 |  |  |  | 保育研究大会 |  |  |  |  |  |
| 11月14日 |  |  |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11月14日 | 保育士 | 木下　久栄 |  | 保育士部会 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5月1日 | 事務 | 高野　玲子 |  | 特別研修会 |  |  |  |  |  |
| 8月7・8日 |  |  |  |  |  | 九州合研 |  |  |  |
| 10月8日 |  |  |  |  |  |  |  | マイナンバー研修 |  |
| 12月14日 |  |  |  |  |  | 実務研修 |  |  |  |
| 2月17日 |  |  |  |  |  | 運営経理研修 |  |  |  |
| 2月22日 |  |  |  |  |  | 会計実務研修 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

５、職員研修の充実

職員の外部研修会への参加状況は以下の通りです。

※研修報告は、職員会議および復命書によって報告し、職員で共通理解し問題点として園で取り組んでいくことに対して協議した

４職員の外部研修会への参加状況は以下の通りです。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 参加年月日 | 講師 | 研修会名 | 参加者名 |
| Ｈ27年5月11日　　　 | ひのくに高等養護学校竹下先生 | 気になる子の支援について | 職員　　　 |
| Ｈ27年6月6日Ｈ27年12月26日Ｈ28年3月12日 | 尚絅短期大学塩崎教授 | 異年齢保育北合志保育園年間計画 | 職員 |
| Ｈ27年10月28日 | きなっせ職員桐先生 | 気になるこの支援について | 職員 |
| ※毎月職員会議　　　　※必要において勉強会と話し合い※毎月給食研修会 |

研修修報告は、職員会議および復命書によって報告し、職員で共通理解し問題点として園で取り組んでいくこと

保護者に研修名や参加者名、学んできた報告などもお便りで出していくことを考えている

６、職務分担表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職名 | 職務 | 氏名 |
| 園長 | 1.　園の経営管理 | 　岩根 治美　　　　　　 |
| 2.　園の事務管理 |
| 3.　職員の資質向上（研修等）と管理 |
| 4.　保育計画の立案及び保育管理 |
| 5.　給食計画の立案及び給食管理 |
| 6.　理事会の決定事項の執行 |
| 7.　関係機構・保護者会等との連携及び地域活動8.食育・農園計画の立案9.行事の方向性と立案10.園の方針と園児獲得のための経営方針の確立 |
| 主任保育士副主任 | 1.　園長の補佐 | 　　野田孝太郎瀬上舞子　　　 |
| 2.　指導計画（保育月案・週案・日案）作成指　　　　導 |
| 3.　職員相互の連携 |
| 4.　行事に関する計画の作成指導 |
| 5.　保育衛生に関する計画及び指導 |
| 6.　園内研修の企画及び指導 |
| 7.　給食に関する指導、助言8．保育方針の全職員に対する理解の浸透と実践9．園児健康診断、園児歯科検診実施の管理10． ぎょう虫、かい虫回収責任１１．農園の管理１2.　園舎内外の掃除の監督、指示１３・備品物の整理管理監督 |
| 保育士 | 1.給食・事務管理 | ○高野　玲子 |
| 2．延長保育責任3． |
| 1. 異年齢クラス「えり・まありちやん家」担
 | ○濱本・桐　濵本依里桐　麻亜里 |
| 1. 4月の安全点検簿の確認責任
 |
| 5　保育園備品の管理、整理整頓 |
| 6. 畑の育成状況管理を行い、食育へのつながりを行う |
| 7. 同遊具の整理保存 |
| ２歳児担当 |
| ３歳児担当 |
|  |  |
|  | 松永典子 |
| 異年齢クラス「のんちゃん」担任　中堅保育士として若手職員の育成を担う |
| ４歳児担当 |  |
| １・ 異年齢クラス「まい・くみちゃん」担任中堅保育士として、若手職員の育成を担う５歳児担当２歳児及び３歳児担当 | ○田中麻衣○金子久美(田中　麻衣金子久美 |
| ２・安全に関する事項畑の育成管理と食育への関心を育てる。 | 濵本・金子　松永)池田結花 |
|  |
| 1. ０歳児・
2. 2中堅保育士としての若手職員の育成
 |
| 1.1歳児担任 | ○前川由紀子・野田孝太郎 |
| 4．　備品物品に関する事項　　　環境設定を行う | ○松永典子○前川由紀子 |
| 　音楽・音響全般担当 | 野田・瀬上・濱本 |
| 2. 医薬品の整理保管3、絵本の整理 | 瀬上　　○前川・池田　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 1.保育実務 | 全保育士 |
|  | 3.　保育に関する記録 | 全保育士 |
| 保育士共通事項 | 4.　園児の健康と安全管理 | 全保育士全保育士全保育士全保育士 |
| 5.　調理員との連携 |
| 6.　保護者との連絡及び指導 |
| 7.　くらす便りの作成8．保育方針の理解と実践 |

* （臨時）は、臨時職員

７、園児及び職員の状況

（１）園児の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 感染症については、 | A・・・ | インフルエンザ | E・・・ | ヘルパンギーナ |
| Ｎ・・マイコプラズマ | B・・・ | 嘔吐下痢 | F・・・ | 水痘 |
| M・・急性気管支炎 | C・・・ | ボストン発疹 | G・・・ | 感染性胃腸炎 |
| L・・アデノウィルス | D・・・ | RSウイルス感染症 | H.・・・ | 手足口病 |

 K・・・突発性発疹 　I・・・・流行性結膜炎 J・・・・おたふく風邪 O・・耳下腺炎 Ｐ…咽頭結膜熱　Q・・・・ロタウィルス腸炎 R・・・潜在性菌血症

S・・・急性上気道炎　T・・・溶連菌感染症 u感染性膿痂疹 v急性胃腸炎　Ｗ急性肺炎

Ｘ・・ヒトメタニューモ　Ｙ・・・ムンプス

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ４（月） | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | 10 | 11 | 12 | １ | ２ | ３ |
| 0歳児 | ４人） | ６ | ７ | ８ | ９ | １０ | １０ | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 感染症 | x | k | K HG |  | k | G  | L Ｔ |  | Ｇ | J | A  | JA |
| 人数 | 1 | 1 | 2.3.3 |  | １ | １ | １.１ |  | ２ | １ | １ | １.3 |
| 1歳児 | 6 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 感染症 | ｋ |  | H  |  |  |  |  |  |  | H  |  | A  |
| 備考 | 1 |   | 3 |  |  |  |  |  |  | 1 |  | 1 |
| 2歳児 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 感染症 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考 |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |  | , |
| えりちゃん家 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 |
| 感染症 | GXL |  |  | G |  |  | T |  |  | J | A | AJ |
| 人数 | 1.2.1 |  |  | 2 |   |  | 1 |  |  | 1 | 3 | 　4.3 |
| こうくん | 15（人） | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 感染症 | GｘN |  | G |  |  | G |  |  |  | J | Ｊ | A  |
| 備考 | 2.1.1 |   | 2 |  |  | 1 |   |  |   | 2 | 1  | 7 |
| ゆかちゃん | 16 | 16 | 16 | 16　 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 感染症 | ｘL |  | G H |  |  | G  |  |  | L  | J Y | J A | YJA |
| 備考 |  2.1 |   |  | 2 |   |  | 1 |  |   | 1 | 3 | 4.3.5 |

※今後の課題

感染症の周知徹底に勤め、マニュアルの迅速、正確・的確な作成に勤める。

職員・保護者の共通理解につとめる。

感染数が多いのは、未満児であり、集団経験が少ないことと免疫力が少ないためと考える。

集団行動に慣れ、年齢が高くなると発生率も低い。外で体を使って遊ぶことも自己免疫の向上になっていると考える

　毎年、感染性胃腸炎が目立つ。比較的、軽い症状から始まり、感染症と確立しにくに反面、感染率が高い為と思われる

園としては、換気、室内の清掃及び感染ルーツを低くするための対処備品をそろえ、職員の対応も統一し、マニュアル性を高めることとする。

インフルエンザや複雑な感染症が増えてきており、保育園での防止と共に各家庭で蔓延しない為に共通理解をして協力していただきたい。

園ぴゅー太の設置により迅速な保護者への伝達が出来るようにし、当園の目安などもしっかり把握してもらいたいとおもう。毎年感染症が複雑化し多様化しているのも感染が広がっている原因と思う

（２）職員の状況

※平成27年3月末日現在

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 園長 | 主任・副保育士 | 保育士 | 調理師 | バス運転手 | 嘱託医 |
| 人数 | １ | 各１ | 9 | １ | 0 | ２ |

（３）職員の担任の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **区分** | **4月** | **５月** | **月** | **６月** |
| 0歳児 | 金子 |  |  |  |
| 1歳児 | 松永平山 | 山下 |  |  |
| ２歳児 | 田中・桐 |  |  |  |
| こうくん家 | 野田 |  |  | 野田・桐 |
| ゆかちゃん家 | 池田 |  |  | 池田・田中 |
| えりちゃん | 濱本 |  |  | 濱本・今村 |

８、年間行事について

（１）主な年間行事

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | 実施行事 |
| 定期的 | 災害訓練、交通安全指導、身体測定、誕生会、太鼓、ラボ、四園交流、園外保育 |
| 平成２７年４月 | 入園式、お見知り遠足、菜園活動、保護者総会、桜と遊ぼう |
| ５月 | 歯科検診、内科健診、大豆植え、奉仕作業 |
| ６月 | プール開き、芋苗植え、ひめ蛍鑑賞会、じゅたんぼ |
| ７月 | お泊り保育、夏野菜収穫、クラス懇談会、夏祭り |
| ８月 | そうめん流し |
| ９月 | 奉仕作業・お月見会・ |
| 10月 | 野外活動・運動会 |
| 11月 | 花束贈呈、クラス懇談会 |
| 12月 | 生活発表会、保育納め、餅つき |
| 平成２８年1月 | どんどや、味噌づくり、クラス懇談会、観劇会 |
| 2月 | まめまき、お店屋さんごっこ、マラソン大会 |
| 3月 | ひなまつり、お別れ遠足、卒園式 |

（２）平成２７年度における年間行事への取り組みについて

　　一年間を通しての行事は、全体的に、子どもも周りの大人（保護者、地域）も楽しめる行事になったと思います。その根本には、要所要所に子どもの成長を感じ喜んでもらえる行事になったこと、保護者のみならず、家族、さらには地域への広がりを持たせる行事になったことが挙げられると思います。

地域、家族参加で始めた夏祭り、伝統行事への参加、地域との触れ合いなど、子どもの成長には、自分は周りから大切にされているという感覚、また、温かく見守られているという安心感や人のぬくもりを感じることが不可欠です。また、子どもが周りに与える元気やパワーは、誰しもが持っている子どもの特権でもあります。人から大切にされることを感じ、人に喜びや元気を与えることに気づき、その思いやりを返せる大人へと成長していくと思います。

目的は毎年変わらないが、当園の方針にもなっている異年齢保育の保育体制で運動会や、発表会が随分と変わってきたと思う。同年齢な保育ではないので、今までとは違っていた行事への取り組みが職員間の話し合いの中で出てきたからである。

しかし、周りの保護者は、従来の物を望む声もあり、今までのできて当たり前、子どもの今の力の発表をすることに対しては、難しいところがある。当保育園が大切にしているのは、子どもがみんなから大切にされて見守られて育っているということの幸福感や安心感から育つ自己肯定感を育むことに狙いがあるからである。

今年では、地域がひとつになり地域対抗の昔ながらの地区別運動会の要素が濃い運動会にした。「子どもが宝運動会」である。大人も子どももみんなで参加する参加型運動会。子ども達は楽しいばかりで思い出にのこる運動会になった。しかし、大人の出番が多かったことや、親離れが慣れができにくい子どもに関してもう少し職員間ではなして取り組んでいく必要がある。

これからも、子どもの持っている可能性を十分引き出し、人とのつながりを持って、誰もが参加し、みんなで楽しみ、みんなの力で作り上げる行事にしていきたいと思いま

す。

（３）行事に対しての取り組みと方針について

当保育園の取り組みとして、特色とした挙げられることに、日頃散歩コースになっている近隣の山の中にいる希少価値の｢ひめ蛍の鑑賞会｣、秋の虫の声を聞き耳を澄ます「お月見会」、など、四季折々、そのときそのときの時間や季節を親子で共有してもらい、子どもも親も心のどこかにいつも振り返ることのできる大切な時間として残してほしいと思っている。日頃何気なく過ごす毎日の中で、特別のものとして過ごす時間は、やはり当園のどこにもない保育の一つだと考える。行事として取れえるのではなく、毎日の保育の中でそれができる環境にあるということである。子ども育つ環境とそのことが以下に大きな意味があるかということを共に感じとるおやこ関係を育てることも目標にしたい。

毎年取る保護者アンケートの結果は、当園の行事についての理解が多くなっている。

このことは、方針のもとに行事の在り方を保護者が理解しているものと思われる。

③これからの課題

　臨機応変の対応への理解

　臨機応変に行える職員及び外部への変更可能な対応ができていくこと

職員が共通理解して方針に沿って保育を保護者に伝えることが出来るようになることである

※保育その質の向上について

○主任保育士が変わり、保育担当しているので、保育の中身が分かりずらい事があげられる。異年齢保育に関しても保育士やその時の子どもの状態などが毎日の子ども達の保育に反映する。

異年齢保育に関しては、子どもの人数や部屋の環境保育士間の連携が取れやすいかどうかなども大きく保育に左右される。

経験を積んだ保育士が若い保育士を育て学ばせながら保育士の質を高めていくといって事がなかなかできにくい状態にある。

○保育士のやってみたい保育を望んでいるがまずやってみたい保育とはどういうものなのか？自己肯定感を育てるといったことは自分で選んだり、決定することに意味があるのだが、選択をして自分で選べる環境を用意しているかということが課題である。例えば、選ぶということはいろんな遊びの中からやってみたいと思うのであってからこそである。何を選んでいいのか、選ぶものさえない所からはどうやって遊んでいいのかさえ分からない。保育士は、選ばせるだけの多様な遊びを子ども達に与えることができているのか、多様なな遊びをさせしたいと思っているのか・・・そのためにははどのような保育が必要となっていくのかというところが重要だと考える。これからは、子どもが集中する、意欲的といった言葉からは、どれだけ子ども達に取ってその遊びが魅力的かどうかということを考えていく必要はある。それが今後の課題である。

○保育方針にもあげているが散歩に充実をはかりたい

職員が経験が浅く北合志保育園の環境を生かした保育がなかなか充実しにくい

散歩に出ることで、子ども達に何を望んでいるのか、どんな子ども達であってほしいのか得個人の思いが弱い。方針目的は理解しているのかもしれないが子どもの何の成長を願ってどんな子ども達であってほしい。その為にはどんな研修や勉強会をしなければならないのかが課題である。

９、地域との交流事業

（１）主な地域交流事業

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施年月日 | 実施場所 | 内容及び名称 | 当園からの参加者 |
| 平成27年4月8日 | 岩本地区 | 花祭り | きりん・ぱんだ |
| 平成27年7月25日 | 岩本地区 | 輪くぐり | きりん・ぱんだ |
| 〃　　8月22日　 | 北合志保育園 | ハッピー夏祭り | 全園児 |
| 平成27年 10月17日 | 北合志保育園 | 運動会 | 全園児 |
| 　　〃　　10月8 日 | 北合志保育園 | お月見会 | 全園児と保護者 |
| 　　28年　２月19日~21日 | JA生活部 | 味噌作り | ４、５歳児全園児 |
| 　　〃　　3月24日 | 保育園 | ゆべし作り | ３４５歳児地域老人 |

（１）

地域交流事業について

・当保育園は、立地条件から見れば、鞍岳の山麓にあり、地域中心部からは離れ、送迎は、自家用車、園バスです。近所の集落も少なく周りの方とふれあうことは多くありません。

さらに、少子化の現代、家族のなかのふれあいも希薄になっている現状があります。

しかし、当保育園でこれから課題として取り組んでいくことは、いかにして子どもたちに多くの経験をさせていけるかということです。

遊びのみではなく、いかに地域の方と触れ合い、ご近所の方とおじちゃん、おばちゃんのお付き合いが出来、顔見知りになり、いつも保育園の子ども達を何がしら、見守っていただける関係をつくりあげていくことです。

　そのことにより子どもは安心し、回りの方が大好きになり、それ以上のやさしさ、思いやり、元気が与えられるような、本来誰もが持っている人と人を繋ぎあう大きな力が出ます

　自分達で作った味噌から、団子作りの名人に来ていただき地域のおばあちゃんと伝統食を作ることができなかったので、それが反省点である。

　園から出かけ、また、園に来ていただく、みんなが顔見知りになり、声を掛け合う・・・

何か、嬉くて、ここちよくて、たのしい・・・・それは一番大切な心の交流があるからです。

これからも保育園の子供たちには心の触れ合いをたくさん感じあえる保育を提供していきます。又、父母の会・祖父母の会・卒園時の会など各部会との交流も引き続き行い、細やかな交流を行うものとします。

１０、苦情処理とその結果

（１）北合志保育園苦情処理システム

苦情

要望

相談

報告

 報告

 助言

 チェック

理事会

第三者委員

理事長

<村田>

<岩根　洋子>

※解決結果を公表する

 <岩根>0968-37-2711

※上記の仕組みで解決できない場合は

　<熊本県福祉サービス運営適正化委員会>

　へ相談する

保護者

苦情受付担当者

保育園主任

問題解決責任者

保育園園長

改

善

点

の

報

告

話

し

合

い

第

三

者

に

直

接

申

し

入

れ

・

報

告

・

助

言

必

要

に

応

じ

立

ち

会

い

◎保護者への周知

・保育所内への提示

◎保護者の苦情を随時受付・

記録

◎職員会議での改善点の検討

・苦情を申し出た保護者への改

善点

◎報告を受けたら、その旨を申

し出た人に通知する

◎必要に応じ、話し合いに立ち

会う

◎直接苦情を受けた場合の報

告の要否確認と記録

◎改善状況の報告聴取と事後

チェック

要

否

確

認

後

に

報

告

（２）苦情処理の現状

　平成２７年度に寄せられた苦情は、１件です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 平成２７年１月5日 | 申し出母親 |
| クラス | ひよこ組 | 対応保育士　瀬上 |
| 苦情の内容 | 8カ月の新入園児を座らせ、前方に倒れ床で口を切ってしまったことに対する保育士の対応に不満を持たれ、園長に直接話に来られた |
| 処理の内容 | 入園間もないこともあり、保育士の対応に不満を持たれての相談があり、状況や、母親の思いをお聞きして、園長が対応した。 |
| 今後の対応 | まだ座ることが安定していない園児に対しての安全策がおろそかだったこと、けがの状態を自己判断し、園長などに相談しなかったことなどが原因で不信感を満たれたので、今後子どもの遊ばせ方も年齢を考慮してあそばせること、自己判断しないで、必ず園長に報告をし、相談すること。 |